名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松沢　恵美
科目名(英)	キャリアプランニングⅠ (Career planning Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(2)	曜日・時限	火曜日・3限

【授業の学習内容】

コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。
他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。

実施者経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。病院併設の運動器リハビリセンターや、フィットネスクラブの立ち上げにも関わる。

【到達目標】

人間関係の基盤であるコミュニケーションスキルとして挨拶や自己紹介の目的や実践法を学ぶことを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	コミュニケーションについて説明することができる①
3回目	コミュニケーションについて説明することができる②
4回目	コミュニケーションについて説明することができる③
5回目	基本的対話スキルを実践することができる①
6回目	基本的対話スキルを実践することができる②
7回目	基本的対話スキルを実践することができる③
8回目	基本的対話スキルを実践することができる④
9回目	グループトークを実践することができる①
10回目	グループトークを実践することができる②
11回目	グループトークを実践することができる③
12回目	グループディスカッション発表①
13回目	グループディスカッション発表②
14回目	グループディスカッション発表③
15回目	まとめ
準備学習時間外学習	コミュニケーションは人との関わりです。コミュニケーションは必ず取らないとなりません。授業で習ったことを意識しながらコミュニケーションを取っていきましょう。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（100%） 5．実地試験（%）
	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	そもそもコミュニケーションとは何なのか、そのような人はコミュニケーションを発展させていくのかなど、人間関係に直接影響するコミュニケーションについて根本的な考え方を学習していきます。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修選択	必修	年次	1	担当教員	渡邊　雄己
科目名（英）	キャリアプランニングⅡ（Career planning Ⅱ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			（単位）	（2）	曜日・時限	火曜日・3限

【授業の学習内容】

コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。
他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。
実務経験：２０１４年から県内大学生の陸上競技の競歩種目の指導に携わる。スポーツ指導はもとより、「経営マネジメント」をヒントにチームマネジメント力で競技力向上を図り、その結果、日本代表や全国優勝・入賞者を数多く輩出した。その実績から 2017年から、愛知県の競歩の強化コーチに就任し、現在に至る。

【到達目標】

職業人として必要なマナーや知識、技術を習得することを目的とする。
実際に社会人になった際にしっかり実行できるよう、日ごろから繰り返すことで身につける。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	基本的な社会的スキルについて説明することができる
3回目	対人行動スキルの基礎である『挨拶』について実践することができる①
4回目	対人行動スキルの基礎である『挨拶』について実践することができる②
5回目	対人行動スキルの基礎である『敬語』について実践することができる①
6回目	対人行動スキルの基礎である『敬語』について実践することができる②
7回目	対人行動スキルの基礎である『電話応対』について実践することができる①
8回目	対人行動スキルの基礎である『電話応対』について実践することができる②
9回目	対人行動スキルの基礎である『接客』について実践することができる①
10回目	対人行動スキルの基礎である『接客』について実践することができる②
11回目	ビジネススキル(手紙)を実践することができる
12回目	ビジネススキル(メール)を実践することができる
13回目	ビジネススキル(SNS)を実践することができる
14回目	コミュニケーションスキル試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	授業で習っている内容を今の環境で実践してください。
評価方法	１．定期試験（%）　２．小テスト（%）　３．レポート（%） ４．課題成果（100%）　５．実地試験（%）

評価方法はＧＰＡ制度となります

１００～９０点	Ｓ
８９～８０点	Ａ
７９～７０点	Ｂ
６９～６０点	Ｃ
５９点以下	Ｆ不合格

受講生へのメッセージ	ビジネスには文書を含めた対人スキルが求められます。就職活動に生かせるスキルを身につけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC講師
科目名（英）	国際教育Ⅰ（International Education Ⅰ）　レベルB						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ部)			(単位)	2	曜日・時限	土曜日・1限

【授業の学習内容】

語彙や文法などについてビデオ視聴、また練習問題に取り組みながらしっかりと学習する。
対面授業とオンデマンド授業のレッスンは同じ範囲となるので、対面授業前の予習や、授業後の復習に活用できる。オンデマンド授業は繰り返しビデオを見たり、問題に挑戦したりすることが出来るので、難しいところは振り返って学習し、しっかりと身に付けることができる。

【到達目標】

日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

授業計画・内容	
1回目	1.1対面授業と連動 [WH-question]を使い、相手の性格について話す
2回目	1.2対面授業と連動 「間接疑問文」を学ぶ 相手に質問をする、また質問に答える
3回目	1.3対面授業と連動 自己紹介をし、知り合いになる 会話の中、第三者を紹介する
4回目	1.4対面授業と連動 段落を認識する 親戚へのメールを読む、書く
5回目	2.1 「現在完了形」を復習する 自分の持ち物について述べる
6回目	2.2対面授業と連動 「現在完了形」の文の中の[already/yet]の使い方を学ぶ 自分の持ち物について述べる 2
7回目	2.3対面授業と連動 話題を変える表現を学ぶ 短い質問文を使い、関心を示す
8回目	2.4対面授業と連動 ネット広告を読む、書く
9回目	3.1対面授業と連動 「冠詞」を学ぶ 自分の町について話す
10回目	3.2対面授業と連動 「助動詞」を学ぶ
11回目	3.3対面授業と連動 ビル内の道順を尋ねる、また教える表現を学ぶ 聞いた話を理解し、自分の話で重ねて言う
12回目	3.4対面授業と連動 求職申し込みを読み、申込書を書く
13回目	U1-3の振返り
14回目	試験
15回目	解説
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50 %）※オンデマンド授業 2．中間試験（50 %）※オンデマンド授業 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

Evolve 3

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC講師
科目名（英）	国際教育Ⅰ（International Education Ⅰ） レベルC						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ部)			（単位）	2	曜日・時限	土曜日・1限

【授業の学習内容】

語彙や文法などについてビデオ視聴、また練習問題に取り組みながらしっかりと学習する。
対面授業とオンデマンド授業のレッスンは同じ範囲となるので、対面授業前の予習や、授業後の復習に活用できる。オンデマンド授業は繰り返しビデオを見たり、問題に挑戦したりすることが出来るので、難しいところは振り返って学習し、しっかりと身に付けることができる。

【到達目標】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	1.1対面授業と連動 所有形容詞を学ぶ　知人・家族について話す
2回目	1.2対面授業と連動 所有代名詞(whose)を学ぶ
3回目	1.3対面授業と連動 話の切り出し方を学ぶ　会話を始める表現を学ぶ　驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ
4回目	1.4対面授業と連動 自己紹介をする　職場でのフォーマルなメールを読む、書く
5回目	2.1対面授業と連動 習慣・ルーティンについて質問する　[Wh-question]を練習する
6回目	2.2対面授業と連動 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ　職場について話す
7回目	2.3対面授業と連動 繰り返しを求める表現を学ぶ　意思疎通に問題があったことを説明する
8回目	2.4対面授業と連動 ポッドキャストについての意見を読む、書く
9回目	3.1対面授業と連動 「現在進行形」を学ぶ・復習する　今していることについて話す
10回目	3.2対面授業と連動 「現在進行形」「単純現在形」を練習する　スポーツ、運動について話す
11回目	3.3対面授業と連動 情報を得るため、必要な表現を学ぶ　知らない情報をチェックする
12回目	3.4対面授業と連動 サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く
13回目	U1-3の振返り
14回目	試験
15回目	解説
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50 %）※オンデマンド授業 2．中間試験（50 %）※オンデマンド授業 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F不合格
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

Evolve 2

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	国際教育Ⅱ (International Education Ⅱ) レベルB	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC講師
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	土曜日・1限

【授業の学習内容】

語彙や文法などについてビデオ視聴、また練習問題に取り組みながらしっかりと学習する。
対面授業とオンデマンド授業のレッスンは同じ範囲となるので、対面授業前の予習や、授業後の復習に活用できる。オンデマンド授業は繰り返しビデオを見たり、問題に挑戦したりすることが出来るので、難しいところは振り返って学習し、しっかりと身に付けることができる。

【到達目標】

日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

授業計画・内容	
1回目	4.1対面授業と連動 [be going to/will]を使い、将来のことについて話す
2回目	4.2対面授業と連動 旅行の計画を立てる 「現在進行形」を使い、将来のプランについて話す
3回目	4.3対面授業と連動 難しい状況において、相手を安心させる、またそれに答える表現を学ぶ
4回目	4.4対面授業と連動 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書く
5回目	5.1対面授業と連動 「単純過去形」を使い、ものを失くす/見つける場面において、会話する
6回目	5.2対面授業と連動 「単純過去形」、「過去進行形」を学ぶ、復習する 人を助ける、人に助けを求める場面において、会話する
7回目	5.3対面授業と連動 驚いたできごとについて話す 言葉をかえて、驚きを表す
8回目	5.4対面授業と連動 簡単な物語を読む、書く
9回目	6.1対面授業と連動 「数量詞」を学ぶ 都会の問題について話す
10回目	6.2対面授業と連動 「現在・未来の条件文」を学ぶ 問題と解決策について話す
11回目	6.3対面授業と連動 [though]を使い、反対意見を述べる 様々な状況での心配、また安心を表現する
12回目	6.4対面授業と連動 価値観についてのネット投稿を読む、書く
13回目	U4-6の振返り
14回目	試験
15回目	試験解説
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50％）※オンデマンド授業 2．中間試験（50％）※オンデマンド授業 3．レポート（％） 4．課題成果（％） 5．実地試験（％） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

Evolve 3

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	国際教育Ⅱ (International Education Ⅱ) レベルC	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC講師
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	土曜日・1限

【授業の学習内容】

語彙や文法などについてビデオ視聴、また練習問題に取り組みながらしっかりと学習する。
対面授業とオンデマンド授業のレッスンは同じ範囲となるので、対面授業前の予習や、授業後の復習に活用できる。オンデマンド授業は繰り返しビデオを見たり、問題に挑戦したりすることが出来るので、難しいところは振り返って学習し、しっかりと身に付けることができる。

【到達目標】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	4.1対面授業と連動 将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ 将来のプランについて話す
2回目	4.2対面授業と連動 「目的語」の使い方を学ぶ
3回目	4.3対面授業と連動 招待する、招待に応える表現を学ぶ 招待を断る理由を説明する
4回目	4.4対面授業と連動 イベントへの招待を読む、書く
5回目	5.1対面授業と連動 人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる
6回目	5.2対面授業と連動 「過去形」（陳述文の否定形；疑問文）を復習する
7回目	5.3対面授業と連動 お祝いの言葉を学ぶ 人の気持ちを推察する表現を学ぶ
8回目	5.4対面授業と連動 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く
9回目	6.1対面授業と連動 [be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する
10回目	6.2対面授業と連動 「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す
11回目	6.3対面授業と連動 店内で欲しいものについて述べる 物事の言い方を英語で聞く
12回目	6.4対面授業と連動 新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
13回目	U4-6の振返り
14回目	試験
15回目	試験解説
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50 %）※オンデマンド授業 2．中間試験（50 %）※オンデマンド授業 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F不合格
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

Evolve 2

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修選択	必修	年次	1	担当教員	熊崎悦子
科目名(英)	情報技術Ⅰ（ Computer SkillⅠ ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	tu	講義演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	(2)	曜日・時限	水曜日・２限

【授業の学習内容】

一般的に普及している事務用のアプリケーション「Microsoft Office」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作ができることは、仕事をする上では最低限求められるスキルです。
情報技術Ⅰでは、Wordの基本操作を覚え、ビジネス文書の作成、ポスターの作成ができる。また、Excelの基本操作を覚え、基本の関数を使った表の作成やグラフの作成ができる。

＊実務経験:

専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関係する授業を約20年行う。就労移行支援事業所のPC講座を約9年行い継続中。また、Web関係のプログラミングを中心としたIT関連の業務を主に行っている。基本情報処理技術者、
MOS(Excel365&2019）、工業高校教員2級を所持。

【到達目標】

〇Word　基本操作を覚えることで、簡単なビジネス文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成（ポスターなど）ができる。
〇Excel　基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容	
1回目	ITリテラシーを習得し、試験に合格できる。
2回目	Word1　基本的な操作を覚える。
3回目	Word2　基本的な操作を覚え、簡単な通知状を作成できる。
4回目	Word3　表を作成できる。
5回目	Word4　画像、図形などの操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。①
6回目	Word5　画像、図形などの操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。②
7回目	Excel1　基本的な表を作成することができる。
8回目	Excel2　基本的な表を作成することができる。
9回目	Excel3　グラフの作成をすることができる。表とグラフを印刷することができる。
10回目	Excel4　基本的な関数を習得し、使えることができる。①
11回目	Excel5　基本的な関数を習得し、使えることができる。②
12回目	Word6　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
13回目	Excel6　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
14回目	Wordで図形や画像の入った文書を作成することができ、Excelで表とグラフを作成することができる（期末試験）
15回目	WordとExcelで習得した内容を作成することができる。

準備学習時間外学習	〇タイピング練習　タイピング練習は自主的に1日10分でいいので行ってください。タイピングが速くなると、入力が楽になり、編集作業が速くなります。 〇Word　基本的な操作を習得するためには、講義の復習が必要です。 〇Excel　基本的な操作を習得するためには、講義の復習が必要です。

評価方法	1．定期試験（80%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（20%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	〇Word、Excelは授業内提出課題と定期テストにて評価を行う。

受講生へのメッセージ	情報技術Ⅰでは、WordとExcelの基本的な操作方法を中心に授業を進めます。「パソコンは嫌い」という人の大半は過去の「できない」経験をそのまま引きずっていることが多いです。しかし、パソコンは便利な道具です。その便利さをこの授業を通して少しでも理解してもらいたいと思っています。既に基本操作は知っている人は復習を行うと考えてもらえればと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

〇テキスト　30時間でマスター　Word&Excel2019（実教出版）・プリント
〇データ保存のための記録媒体　USBフラッシュメモリ

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修選択	必修	年次	1	担当教員	熊崎　悦子
科目名（英）	情報技術Ⅱ（Computar skill Ⅱ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			（単位）	2	曜日・時限	水曜日・2限

【授業の学習内容】

一般的に普及している事務用のアプリケーション「Microsoft Office」のプレゼンテーションスライドソフトPowerPointの技術とプレゼンテーション技術の基礎は社会においても必要な知識となります。
情報技術Ⅱでは、PowerPointの基本操作を覚え、プレゼンテーションスライドの作成および発表ができる。また、Excelの事務処理で使用する関数を覚え、その関数を使用して簡単な表の処理ができる。

※実務者経験：専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関係する授業を約18年行う。就労移行支援事業所のPC講座を約7年行い継続中。基本情報処理技術者、MOS（Word2003,2010 Excel2003,2010,2016 Excel エキスパート 2010(PowerPoint2010）、工業高校教員2級を所持。

【到達目標】

○PowerPoint
基本操作を覚えることで、スライドを作成し、プレゼンテーションを行うことができる。
○Excel
事務処理で使用する関数を覚え、簡単な表の処理ができる。
○タイピング練習
タイピングの正確性とスピードを向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	PowerPoint1　プレゼンのストーリー作成方法がわかる。スライド作成の基礎がわかる。
2回目	PowerPoint2　プレゼンの方法がわかる。スライド作成の基礎がわかる。
3回目	PowerPoint3　スライド作成の基礎がわかる。
4回目	PowerPoint4　スライドの効果的な見せ方がわかる。スライド作成の基礎がわかる。
5回目	PowerPoint5　発表用のスライドを作成することができる。
6回目	PowerPoint6　発表用のスライドを作成することができる。
7回目	PowerPoint7　発表用のスライドを作成することができる。
8回目	PowerPoint8　発表用のスライドを作成することができる。
9回目	PowerPoint9　完成したスライドを使って発表することができる。（中間試験）
10回目	Excel1　IF関数（条件が1つの場合）の使い方がわかる。
11回目	Excel2　IF関数（条件が2つの場合）の使い方がわかる。
12回目	Excel3　VLOOKUP関数とIFERROR関数の使い方がわかり、表を効率よく作成することができる。
13回目	Excel4　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
14回目	Excel5　IF関数、VLOOKUP関数、IFERROR関数を使用して表を作成することができる（期末試験）
15回目	PowerPointとExcelで習得した内容を作成することができる。
準備学習時間外学習	**○タイピング練習**　タイピング練習は自主的に1日10分でいいので行ってください。タイピングが速くなると、入力が楽になり、編集作業が速くなります。 **○PowerPoint**　プレゼンテーション発表のためのスライド準備時間が必要です。 **○Excel**　事務処理用関数を習得するためには、講義の復習が必要です。
評価方法	1．定期試験（50%）　2．小テスト（0%）　3．レポート（0%）　4．課題成果（0%）　5．実地試験（50%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	○PowerPointはプレゼンテーション発表にて評価を行う。 ○Excelは定期テストにて評価を行う。
受講生へのメッセージ	情報技術Ⅱでは、PowerPointを使用して、プレゼンスライドの作成方法と実際にプレゼン発表を行い、プレゼンテーションの意味を理解してもらいます。Excelは、情報技術Ⅰの続きで、事務処理でよく使われる関数を中心に習得をしてもらいます。	

【使用教科書・教材・参考書】

○テキスト　30時間アカデミック　情報基礎　Word&Excel2016
30時間でマスター　プレゼンテーション＋PowerPoint2016
○データ保存のための記録媒体　USBフラッシュメモリ

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	ホスピタリティⅠ (Clinical Practrice Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三輪陽子 杉本佳史
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	プロスポーツAIトレーナーコース スポーツマネジメントテクノロジーコース					曜日・時限	火曜日 3限

【授業の学習内容】
ホスピタリティは接客・接遇の場面だけで発揮されるものではなく、人と人、人とモノ、人と社会、人と自然などの関わりにおいて具現化されるものです。相互に創りあげることができ、それによって社会が豊かになっていくという大きな意味でもホスピタリティは重要です。ホスピタリティは一般的にはサービスを提供する企業と、それを受け取る顧客との領域で論じられることが多いですが、決してそれだけにとどまるものではありません。ホスピタリティを理解し、実践で役立てていくことを学んでいきます。

【実務経験】
日本ホスピタリティ推進協会　ホスピタリティコーディネータ認定講師

【到達目標】
ホスピタリティ（付加価値共創）は、サービス（等価価値交換）の上に乗っているものです。どの分野、社会においてもホスピタリティが必要であることを理解し、実際に使いこなす（習慣づける）ことを目標とします。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　（アソシエイト・ホスピタリティコーディネーター資格取得の説明）　認定講師紹介
2回目	日常のホスピタリティ　立ち居振る舞い　面接場面のホスピタリティ
3回目	社会生活でのホスピタリティ　電話対応、メールの書き方等
4回目	言葉のホスピタリティ
5回目	様々なバリアフリー　シンボルマーク
6回目	ホスピタリティの実践①
7回目	ホスピタリティの実践②
8回目	ホスピタリティの実践③
9回目	ホスピタリティ実践レポート
10回目	第一章：日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性　第二章：ホスピタリティの歴史と文化
11回目	第三章：サービスとホスピタリティの語源　第四章：ホスピタリティの定義
12回目	第五章：ホスピタリティの5領域　第六章：組織と顧客のホスピタリティ　第七章：組織と社員のホスピタリティ
13回目	世界のホスピタリティ
14回目	アソシエイト・ホスピタリティ試験対策
15回目	アソシエイト・ホスピタリティ試験
準備学習 時間外学習	アソシエイト・ホスピタリティコーディネーター対策動画
評価方法	1．講義の出席 2．レポート 3．資格試験 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F 不合格 ・講義への出席日数 ・ホスピタリティ実践レポートの提出 ・アソシエイトホスピタリティコーディネータ試験（80点以上） ※上記3つすべてをクリアして単位認定とする
受講生へのメッセージ	ホスピタリティという知識と習慣を身に付けて日本だけでなく世界へ羽ばたく人材になりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
ホスピタリティ・コーディネータ教本
オンデマンド動画

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業科目名（英）	生理学 基礎生理学 (Basic Physiology)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松沢　恵美
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	2	曜日・時限	火曜日４限 木曜日 3限・4限

【授業の学習内容】

人体の基本構造を学び、からだのはたらき（機能）についてその仕組みの理解を深めていく。
機能を知ることで、解剖学や医学、トレーニング論の学びに繋ぎ、後期のスポーツ生理学の基礎を固めていく。

＊実務経験:

実施者経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。病院併設の運動器リハビリセンターや、フィットネスクラブの立ち上げにも関わる。

【到達目標】

①人体の基本構造、各器官のはたらきを理解する
②身近な疑問となる「なぜ？」を解決し、スポーツ生理学の基礎となる部分を理解する

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　からだの仕組みについて、説明ができる
2回目	神経系のなりたち　脳と神経について説明ができる①
3回目	神経系のなりたち　脳と神経について説明ができる②
4回目	骨と筋のなりたち　筋・骨格系について説明ができる①
5回目	骨と筋のなりたち　筋・骨格系について説明ができる②
6回目	呼吸器のなりたち　呼吸器系について説明ができる①
7回目	呼吸器のなりたち　呼吸器系について説明ができる②
8回目	循環器のなりたち　循環器系（血管・血圧・心臓）について説明ができる①
9回目	循環器のなりたち　循環器系（血管・血圧・心臓）について説明ができる②
10回目	循環器のなりたち　循環器系（血液・造血）について説明ができる
11回目	消化器のなりたち　消化器系（消化・吸収の仕組み）について説明ができる
12回目	消化器のなりたち　消化器系（各器官の働き）について説明ができる
13回目	復習
14回目	定期試験
15回目	まとめ・解説

準備学習 時間外学習	生理学を理解することで、解剖学や医学、トレーニング論関連全てにおいて、理解しやすくなります。 復習をしっかり行いましょう！		
評価方法	1．定期試験（70%） 2．確認テスト（20%） 3．受講態度（10%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	
受講生へのメッセージ	全てに興味を持ち、一つ一つの説明をしっかり聞き、ノートを工夫してとっていくように心がけてください。 「なぜ？」と興味を持つことで、理解が深まります。楽しんで学ぶようにしてください。		

【使用教科書・教材・参考書】

Reference　Book

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業科目名（英）	解剖学 基礎解剖学 （ Basic Anatomy）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	福田 翼
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部・Ⅱ部）			（単位）	(2)	曜日・時限	火曜3・4限

【授業の学習内容】

解剖学は人体の構造や仕組みについて学ぶ学問である。人体の評価や動きの実践にも正しい解剖学知識は不可欠である。
基礎解剖学では、骨・関節・筋の構造を理解し、機能へとつなげていくことができる。運動器系の解剖学を理解することで、トレーニング、テーピング、アスレティックリハビリテーションなどを実施できる。

実務者経験：2017年よりアスレティックトレーナーとして、トライアスロン選手や社会人フットサルチームなどのサポートを行う。また、アスリートのトレーニング指導を行うパーソナルトレーナーとしても活動している。選手の怪我の応急処置や予防・再発予防のためのコンディショニング、テーピングなどを行っている。

【到達目標】

目標①骨の構造と各骨の名称を習得できる。
目標②関節の構造と仕組み、補強する組織についての知識を習得できる。
目標③筋の構造と仕組み、各筋の名称とその働きを習得し、動きの理解につばげることができる

授業計画・内容	
1回目	身体の仕組みの全体像をイメージできる
2回目	骨の構造を理解できる
3回目	骨の種類・形状などの仕組みを理解で来る
4回目	骨の成長について理解できる
5回目	関節の構造を理解できる
6回目	関節の機能と種類を理解できる
7回目	中間試験を行う
8回目	筋の構造について理解できる
9回目	全身の骨の名称を理解できる①
10回目	全身の骨の名称を理解できる②
11回目	全身の筋の名称を理解できる①
12回目	全身の筋の名称を理解できる②
13回目	まとめ
14回目	筆記試験を行う
15回目	試験解説を行う
準備学習 時間外学習	骨・関節・筋の名称を正確に覚えることが実技授業の理解にも繋がっていく。 各名称や機能・働きについての復習が必要です。
評価方法	1. 中間試験（10 %） 2. 定期試験（80%） 3. 授業態度（10%）
	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	基礎解剖学は、他授業の理解に直接的に繋がる部分です。人体についての知識の土台となる分野ですので、復習を繰り返して理解を深めて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

プロが教える骨と関節のしくみ・はたらきパーフェクト辞典
プロが教える筋のしくみ・はたらきパーフェクト辞典

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業科目名(英)	運動学 基礎運動学 (Basic Kinematics)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	荒牧　友宏
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜日 3限

【授業の学習内容】
筋肉の名称、形状、内部構造や仕組み、働きについて学習する。さらに運動中の姿勢・体幹、呼吸についても学習する。これらを基礎的な運動やレジスタンストレーニングのエクササイズを通して学んでいく。
実施者経験：2007年にNSCA-CPT、2008年にCSCSを取得し、大手フィットネスクラブでインストラクター、パーソナルトレーナーとして指導に当たると共に、クラブチームや高等学校・大学クラブへストレングスコーチとしてチーム指導に当たる。2012年より京都市においてジムを2店舗経営し、子どもから高齢者、アスリートに至るまで様々なクライアントへの運動指導にあたる。

【到達目標】
筋の働きや動きなどを運動へリンクせて考えれるようにする。運動・トレーニングの動きを理解する。理解する事により、運動・トレーニングを安全で効果的に行えるようにする。今後のプログラムデザインを行う上でも重要である。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。筋骨格系の名称とその形状を習得する
2回目	筋の働きと役割を習得する
3回目	筋収縮様式の特徴とレジスタンストレーニングにおける適応を習得する
4回目	レジスタンストレーニングにおけるモーメントアーム、トルク、てこを習得する
5回目	力学的パワーと運動量転移を習得する
6回目	姿勢支持と体幹、動作中の呼吸を習得する
7回目	レジスタンストレーニングにおける適応とメカニズム（筋肥大・筋力・パワー）を習得する
8回目	中間試験を行い、解説によりさらに理解を深める
9回目	歩行動作を習得する
10回目	走行動作を習得する
11回目	跳ぶ・投げるを習得する
12回目	トレーニング器具の種類と負荷効果の違いを習得する
13回目	まとめを行い、学期末試験に備える
14回目	定期試験
15回目	解説
準備学習 時間外学習	予習・復習を行い、講義内で積極的に学習・発言出来るよう準備に努める。
評価方法	1．定期試験（70%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 評価は筆記試験。筆記試験により基礎的な運動に対する知識を有したかを確認する。中間試験30点、学期末試験70点の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。
受講生へのメッセージ	運動・トレーニングを行う上で、解剖学や筋の特性などを理解しながら行う事が安全で効果的なトレーニングに繋がります。様々な科目をリンクさせ、運動・トレーニングを理解しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
NSCAジャパン「NSCAパーソナルトレーナーの為の基礎知識」　BHD「ストレングストレーニング＆コンディショニング」

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業科目名(英)	栄養学 基礎栄養学 (Basic Nutrition)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	種村　見名子
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）					曜日・時限	金曜　2.3限

【授業の学習内容】

すべての人の健康保持・増進、スポーツ選手のコンディショニングにおいて土台となる”栄養摂取の基礎知識”を学び、自分自身も食に対する意識を高め、現場でのアドバイスに活かせるような知識の習得をねらいとする。

＊実務経験：2005年～2016年　学校給食、病院、行政での離乳食教室、乳幼児栄養相談、特定保健指導、病態別栄養指導に携わる
2014年～フリーランスとしてフットサル選手、卓球選手、バレーボール選手の栄養サポートに携わる
2019年～診療所での栄養相談、育児相談、訪問栄養指導、男性向けの料理教室の講師、パーソナルジムでの栄養指導に携わる

【到達目標】

食べ物に含まれる”5大栄養素の体内での働き”について理解する。毎日の食事において、組み合わせ・量・タイミングをどのように工夫すれば、健康でより良いコンディショニングづくりができるか、自分の食事と照らし合わせて習得する。グループワークを行い、考え方の共有やケース別の問題点と改善方法について学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	食物の消化吸収とバランスの良い食事の重要性について習得する
3回目	自分に必要なエネルギー量と糖質について習得する
4回目	たんぱく質の働きについて習得する
5回目	たんぱく質の働きとプロテインパウダーについて習得する
6回目	脂質の働きについて習得する
7回目	ビタミンの働きについて習得する
8回目	ミネラルの働きについて習得する
9回目	水分の働きと熱中症予防について習得する
10回目	年代別、生活環境別の食環境についてグループワークで話し合う
11回目	グループ発表・考えの共有を行い、自分たちの傾向を認識する
12回目	媒体作成
13回目	媒体発表、まとめ・復習
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習 時間外学習	食に興味をもつこと 学んだところの資料を読み深めること 知識を実践に結びつけるために、食事が自分の体にどう影響するのか観察してみる

評価方法	1．定期試験（80%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（20%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F不合格	

受講生へのメッセージ	健康な身体も、より高いパフォーマンスも毎日の食事が支えています。 習得した知識をどう活かせるか、どう伝えるか考えながら学びを深めましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

JSPO　Reference　Book
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト9　スポーツと栄養

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	指導者論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大西　城太郎
科目名 (英)	スポーツ指導論 (Sports　Leader　Introduction)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ｉ部）			(単位)	2	曜日・時限	火曜・2限

【授業の学習内容】

大谷選手などの活躍で優勝したWBCやサッカーワールドカップでの日本選手たちの活躍など様々なスポーツで活躍する選手を育成していくためには、どのようなことに気をつけながら選手に接していくのか、どのようになコミュニケーションをとっていくことによって、そのような選手たちを育成していくことができるのかなどを学んでいきます。

＊実務経験:

2001年よりフィットネスクラブでアルバイトを始めたことをきっかけに、様々な年代の人たちに対し、水泳、アクアビクス、スタジオレッスンなどの指導を行ってきた。また、大学ラクロスチームでもトレーニングやリハビリなどの指導も行ってきた。2006年より専門学校の非常勤講師として学生の教育にも携わっている。

【到達目標】

スポーツ指導に必要なスキル、知識を身につけ、それを実践できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	望ましい指導者とは
3回目	指導者に求められる役割
4回目	指導者に求められるコミュニケーションスキル（コーチング）
5回目	安全なスポーツ環境の構築（熱中症対策）
6回目	安全なスポーツ環境の構築（落雷・緊急時対応）
7回目	指導者に求められるスキル（対他者力）
8回目	指導者に求められるスキル（対自己力）
9回目	ガバナンスとコンプライアンス
10回目	体罰について
11回目	ハラスメントについて
12回目	アンチ・ドーピングとインティグリティ
13回目	指導計画
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習 時間外学習	事前にテキストを読んで内容を理解しておくこと。授業で習った内容の復習をすること。		
評価方法	1．定期試験（80%） 2．小テスト（%） 3．レポート（20%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	
受講生へのメッセージ	選手やクライアントは指導者によってどう成長していくかが変わります。良い選手は良い指導者に巡り合ったこと		

【使用教科書・教材・参考書】　Reference Book　（公益財団法人　日本スポーツ協会）

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	基礎医学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	井澤　秀野
科目名(英)	スポーツ医学概論 (Sports Medicine Introduction)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間(単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間（Ｉ部）					曜日・時限	月曜日4限

【授業の学習内容】

スポーツ医学各論の基礎となる科目として、アスレティックトレーナーが身に付けるべきスポーツ医学に関わる基本的な知識を習得し理解を深める事を目的とする

※実務者経験：2005年～2013年ヤマハ発動機ラグビー部トレーナー、2013年～現在　東海大学附属相模高等学校ラグビー部トレーナー、2015年～2016年　IBM　BIG BLUEアメリカンフットボール部トレーナー、2015年～2016年　セブンズラグビー日本代表トレーナー、2017年　栗田工業ラグビー部トレーナー、2018年～現在　富士通アメリカンフットボール部トレーナー、アメフト日本代表トレーナー、明治学院大学アメリカンフットボール部トレーナー。各チームにおいて、外傷発生時の応急処置、及び、選手のコンディショニング、リハビリテーションに携わる

【到達目標】

スポーツ医学に関する知識を深める、獲得したスポーツ医学の知識を実際のフィールド及び運動指導の場面で実践・指導に活用する。具体的にはスポーツ活動中に発生する怪我や病気（内科・外科）の特徴とその適切な対応及び予防を理解する。性別、年齢の違いで生じるスポーツ外傷・障害の特徴とその適切な対応及び予防法を理解する。健康的なスポーツ活動を行う為に必要なアスレティックトレーニング、アスレティックコンディショニングの理解を深める

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス・スポーツ医学総論（スポーツ医学の範囲と学びについて理解し説明できる）
2回目	スポーツと健康（健康の定義・スポーツの効果について説明できる）
3回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（熱中症の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）
4回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（突然死の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）
5回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（オーバートレーニング症候群の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）
6回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（運動性貧血の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）
7回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（多い怪我の種類、特に年齢別、種目別の特徴を説明できる）
8回目	発育発達期に多い怪我や病気（発育発達期の身体の特徴を理解し発生しやすい怪我や病気を説明出来る）
9回目	救急処置・応急処置（一次救命処置の手順、RICE処置について方法、注意点を理解し説明出来る）
10回目	スポーツ活動と安全管理（スポーツにおける安全確保について理解し説明できる）
11回目	スポーツと健康管理（アスリートの健康管理体制、メディカルチェックの方法、項目、データ活用について理解し説明できる）
12回目	スポーツと健康管理（ドーピング防止活動、ドーピングコントロールについて理解し説明できる）
13回目	特殊環境下での対応（暑熱対策、低温対策、高地対策、時差対策、感染症対策について理解し説明できる）
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習 時間外学習	・この授業を受けるには、スポーツ医学についての理解が必要です。アスリートに関するスポーツ医学の予習が必要です。 ・スポーツ医学についての確認テストを行いますので、講義の復習が必要です。		
評価方法	1．定期試験（100%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	定期試験（100%）で評価をします。
受講生へのメッセージ	スポーツに関わる者には幅広い知識が要求するされる。スポーツ医学では、疾患の発症メカニズムや病態、実践に則した予防法について習得し理解、応用が出来るようになりましょう		

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト　3巻　「スポーツ外傷・障害の基礎知識」

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	スポーツ医学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	井澤 秀野
科目名(英)	スポーツ医学Ⅰ (Sports Medicine Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	月曜日・2限 3限

【授業の学習内容】

スポーツに関わる者には内科的・整形外科的な内容まで幅広い知識が要求される。スポーツ医学Ⅰでは、整形外科的疾患における、言葉の定義とその発生メカニズムを理解する。
実務者経験：2005年～2013年　ヤマハ発動機ラグビー部トレーナー・2013年～現在　東海大学附属相模高等学校ラグビー部トレーナー・2015年～2016年　IBM　BIG BLUEアメリカンフットボール部トレーナー・2015年～2016年　セブンズラグビー日本代表トレーナー・2017年　栗田工業ラグビー部トレーナー・2018年～現在　富士通アメリカンフットボール部トレーナー。各チームにおいて、怪我の応急処置及び復帰までのコンディショニングサポートにあたる。

【到達目標】

スポーツ医学に関する知識を深める、獲得したスポーツ医学の知識を実際のフィールド及び運動指導の場面で実践・指導に活用する。具体的にはスポーツ活動中にスポーツ指導者として必要なスポーツ医学（外科科系）に関する基礎知識を理解できる。

授業計画・内容	
1回目	スポーツ現場で多く見られる外傷を理解し、説明できる①
2回目	スポーツ現場で多く見られる外傷を理解し、説明できる②
3回目	スポーツにおける「捻挫」について、説明できる①
4回目	スポーツにおける「捻挫」について、説明できる②
5回目	スポーツにおける「捻挫」について、説明できる③
6回目	スポーツにおける「打撲」について、説明できる①
7回目	スポーツにおける「打撲」について、説明できる②
8回目	スポーツにおける「骨折」について、説明できる①
9回目	スポーツにおける「骨折」について、説明できる②
10回目	スポーツにおける「脱臼」ついて、説明できる①
11回目	スポーツにおける「脱臼」について、説明できる②
12回目	二次的機能障害について理解し、説明できる①
13回目	二次的機能障害について理解し、説明できる②
14回目	定期試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	(目標①) 前提：この授業を受けるには、スポーツ医学概論で学んだ知識理解が不可欠です。さらに解剖学について予習が必要です。 (目標②) スポーツ医学についての確認テストを行いますので、講義の復習が必要です。
評価方法	1．定期試験（100%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	スポーツ指導者として必要なスポーツ医学（外科系）に関する基礎知識を理解できるようになります運動器外傷・障害の発生機序・応急処置、救急処置、予防する知識と指導力を身につけましょう

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト　3巻　「スポーツ外傷・障害の基礎知識」

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木村　友紀
科目名 (英)	レジスタンストレーニングⅠ (Resistance　Training Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）					曜日・時限	火曜 1・2・5限

【授業の学習内容】

前期は、トレーニング器具の名称、使用方法を習得し、また基礎となるトレーニングの種類・方法・効果を中心に習得します。

＊実務経験:

チームトレーナー：高校硬式テニス部、高校ラグビー部、大学ラクロス部、

パーソナルトレーナー：アーティスト、バレリーナ、プロテニスプレーヤー、プロボクサー、ラグビー

京都府国体テニストレーナー、島津全日本テニス室内選手権大会トレーナーなどの活動をしている。

【到達目標】

上肢・下肢のトレーニング・自体重トレーニング・パワーエクササイズの種類・方法・効果を中心に習得し、
自身が実演・指導・効果の説明が行えるようになること。
クライアントによる様々なニーズに応じたトレーニングを提供できるようになること。

授業計画・内容	
1回目	トレーニング器具の名称・使い方説明方法が理解できる
2回目	上肢のトレーニングが理解して実践することができる①
3回目	上肢のトレーニングが理解して実践することができる②
4回目	上肢のトレーニングが理解して実践することができる③
5回目	上肢のトレーニングが理解して実践することができる④
6回目	下肢のトレーニングが理解して実践することができる①
7回目	下肢のトレーニングが理解して実践することができる②
8回目	下肢のトレーニングが理解して実践することができる③
9回目	下肢のトレーニングが理解して実践することができる④
10回目	コアトレーニングが理解して実践することができる①
11回目	コアトレーニングが理解して実践することができる②
12回目	コアトレーニングが理解して実践することができる③
13回目	総復習
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習 時間外学習	目標①前提：この授業を受けるには、筋肉の名称・起始・停止・作用等、解剖学の理解が不可欠です。解剖学の予習が必要です。 目標②トレーニング器具を扱う上において、器具の重量に対して筋力が必要になります。自主的にトレーニングすることが必要です。		
評価方法	1．定期試験（100%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	定期試験で評価を行います。
受講生へのメッセージ	クライアントのニーズに応じたトレーニングが行えるようになる為にも、より多くのトレーニングを学んでいくとともに、実際に自らがトレーニングを体験し、色んなことに気づき感じていくことが大切です。 正しいトレーニングを指導するためにも、まず自らがトレーニングを行っていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

NSCAジャパン　パーソナルトレーナーの為の基礎知識
目でみる筋力トレーニングの解剖学

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業科目名（英）	エクササイズ基礎 エアロビックダンス （ Aerobic Dance ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	伊藤 ひとみ
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）					曜日・時限	火曜日2・3・4・5限 木曜日1・4限

【授業の学習内容】

エアロビックダンスを通じてグループエクササイズの担う役割と効果を習得します。
音楽を使うエクササイズによる効果は、体力向上やフィジカル強化だけにとどまらず、現代社会における問題点でもあるストレスの軽減、更にはがん予防にも効果が証明されています。人と関わるエクササイズによって多くの人を笑顔にする喜びを習得します。

【実務経験】

2000年からインストラクターとして活動。スポーツクラブでのエアロビクス・ダンス系・調整系等の指導。
養成コースの講師経験やプログラム開発、パーソナルトレーナーも実施。
保有資格：日本フィットネス協会ADI・健康運動実践指導者・健康運動指導士

【到達目標】

エアロビックダンスの特性を理解し、資格取得の際に必要なスキルの習得。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	エアロビックダンスの歴史・効果・特性の説明ができる。
3回目	音取り・基本ステップを習得する。
4回目	基本ステップを習得する。
5回目	指導スキルを説明できる・
6回目	ウォームアップを説明できる。
7回目	クールダウンを説明できる。
8回目	デモンストレーション・復習
9回目	指導練習を通して指導法を習得する。
10回目	シンメトリー法を説明できる。
11回目	デモンストレーション・復習
12回目	復習と試験対策
13回目	試験対策
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習 時間外学習	実際にスポーツクラブなどでレッスンに参加して、参加者側の気持ちを経験したり、現場のインストラクターから学ばせてもらう時間を作りましょう。 インプットしたことをアウトプットする機会を作ることで本当の習得になるので、指導するチャンスを作っていきましょう。		
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	授業態度（20%） 出席状況（20%） 定期試験（60%）で評価をします。
受講生へのメッセージ	一年生の前期では、全員がエアロビクスダンスを学びます。 この授業では、資格取得（健康運動実践指導者）にも繋がる内容となっています。 グループフィットネスの魅力を伝えます。しっかり汗を流しましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鈴木　久美子
科目名 (英)	アクアビクス (Aquabics)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ｉ部）			(単位)	（2）	曜日・時限	月曜日・２限・３限・４限

【授業の学習内容】

現在行われている水中運動（アクアビクス、アクアウォーキング、レジスタンストレーニング、リラクゼーションなど）や
水中という環境を実際に体感し、水の特性を理解しプログラミングや実技指導に繋げます。

＊実務経験:

2005年アクアエクササイズインストラクター資格を取得。
全米アクアエクササイズ協会認定・全米アクアセラピー＆リハビリ協会認定者。
現在、愛知県内９ヶ所のスポーツクラブにおいて週16本のレッスンを担当している。

【到達目標】

水中運動にはどんなプログラムがあるのか、その目的や効果、どの様な対象者に適しているか説明できる。
水の特性を理解し「アクアウォーキング」をプログラミングし実技指導が出来る。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	オリエンテーション
3回目	講義・アクアエクササイズの目的、水の特性を理解し説明できる。
4回目	講義・アクアエクササイズの目的、水の特性を理解し説明できる。
5回目	対象者や目的別のアクアプログラムを実習し感することができる①（アクアビクス・レジスタンス・リラクゼーション）
6回目	対象者や目的別のアクアプログラムを実習し感することができる①（アクアビクス・レジスタンス・リラクゼーション）
7回目	講義・アクアウォーキングの目的、強度変換を説明できる　/ アクアプログラムを実習し体感することができる②
8回目	講義・アクアウォーキングの目的、強度変換を説明できる　/ アクアプログラムを実習し体感することができる②
9回目	講義・アクアウォーキングのプログラミングと指導法を学び習得する/アクアウォーキングを実習し体感することができる
10回目	講義・アクアウォーキングのプログラミングと指導法を学び習得する/アクアウォーキングを実習し体感することができる
11回目	試験課題対策①/ 実技指導を習得する
12回目	試験課題対策①/ 実技指導を習得する
13回目	試験課題最終説明・試験課題対策②
14回目	試験課題最終説明・試験課題対策②
15回目	定期試験（アクアウォーキングの実技指導ができる）/ 定期試験評価
16回目	定期試験（アクアウォーキングの実技指導ができる）/ 定期試験評価

準備学習 時間外学習	・授業最初に前週の復習を行いますので必ず各自で復習してください。　・隔週で課題に取り組み、提出します。		
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F不合格	定期試験（60%）・課題評価（20%）・出席授業態度（20%）
受講生への メッセージ	どんな場面に於いても第一印象は大切です。挨拶は明るく元気よく行いましょう。 施設利用にも感謝を忘れず、お互い気持ち良く授業を進めましょう。遅刻や忘れ物も厳禁です。		

【使用教科書・教材・参考書】

健康運動実践指導者テキスト・筆記用具・水着・キャップ・タオル

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修選択	必修	年次	1	担当教員	福田　翼
科目名（英）	テーピング基礎（Taping Basic）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	(2)	曜日・時限	木曜4限/金曜2・3・4限

【授業の学習内容】

選手やクライアントの方に発生する、各外傷や障害に対してテーピングを的確に行う必要がある。
各外傷・障害についてや、その部位の解剖学的知識を習得したうえで、テーピングを実施する。
本授業修了時には各外傷や障害、その部位についての知識、併せてテーピングを正確に実施するための基礎となる技術を習得できる。

実務者経験：2017年よりアスレティックトレーナーとして、トライアスロン選手や社会人フットサルチームなどのサポートを行う。また、アスリートのトレーニング指導を行うパーソナルトレーナーとしても活動している。選手の怪我の応急処置や予防・再発予防のためのコンディショニング、テーピングなどを行っている。

【到達目標】

各外傷・障害についての知識や、解剖学的知識を習得する。
そして、選手やクライアントの方にただテーピングを実施するだけではなく、使用するテープの目的、各手順ごとのテーピングの目的までを正確に説明できる。

授業計画・内容	
1回目	ガイダンスを行う　テーピングの概要について説明ができる
2回目	足関節内反捻挫（基本）のテーピングを実施できる
3回目	足関節内反捻挫（OPEN/CLOSE)のテーピングを実施できる
4回目	足関節内反捻挫　伸縮テープを用いたテーピングを実施できる
5回目	足部アーチのテーピングを実施できる
6回目	足関節内反捻挫（基本）のテーピングの演習を行い、実践することができる
7回目	中間試験（実技）を行う
8回目	足関節背屈制限のテーピングを実施できる
9回目	足関節底屈制限のテーピングを実施できる
10回目	膝前十字靭帯損傷に対してのテーピングを実施できる
11回目	膝内側側副靭帯損傷に対するテーピングを実施できる
12回目	膝関節のテーピングの演習を行い、実践することができる
13回目	実技試験を行う
14回目	筆記試験を行う
15回目	試験解説を行う

準備学習時間外学習	テーピングを実施するにあたり、その部位に対しての解剖学的知識や起こりうる外傷・傷害に対しての知識が必要です。 本授業で行うテーピング部位は、足部・足関節、膝関節が主となりますので、各部位の解剖学、外傷・傷害についての予習が必要です。 実技試験2回、筆記試験1回を行いますので、復習が必要です。		
評価方法	1. 中間試験（25%） 2. 実技試験（25%） 3. 筆記試験（50%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	中間試験（実技25%） 期末試験（実技25%・筆記50%）で評価をします。
受講生へのメッセージ	トレーナーはもちろん、インストラクターやビジネス部門で現場に出るにあたって、様々な怪我に遭遇することが想定されます。 そこで、本授業でのテーピングの知識は必ず生きてくるものだと思います。身体や怪我についてしっかりと知識を持ち、それと併せて正確なテーピングの技術を習得しましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認　アスレティックトレーナーテキスト第6巻 【予防とコンディショニング】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	英会話	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC 講師
科目名（英）	英会話ＩＡ（English Conversation ＩA） レベルB						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	昼間（Ｉ部）			(単位)	4	曜日・時限	月曜日5限/木曜日5限

【授業の学習内容】

主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。

【到達目標】

日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

授業計画・内容

1回目	1.1 [WH-question]を使い、相手の性格について話す	16回目	4.1 [be going to/will]を使い、将来のことについて話す 個人的な意見を述べ、計画を立てる表現を学ぶ
2回目	1.2 「間接疑問文」を学ぶ 相手に質問をする、また質問に答える	17回目	4.2 旅行の計画を立てる 「現在進行形」を使い、将来のプランについて話す [will]を使い、突然の決定について話す
3回目	1.3 自己紹介をし、知り合いになる 会話の中、第三者を紹介する	18回目	4.3 難しい状況において、相手を安心させる、またそれに答える表現を学ぶ
4回目	1.4 段落を認識する 親戚へのメールを読む、書く	19回目	4.4対面授業と連動 イベントへの招待を読む、書く4.4 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書く
5回目	1.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「良いリーダーになるには何が必要かをディスカッションし、自分の考えを発表する」 ・前期発表と連動する内容	20回目	4.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容
6回目	2.1 「現在完了形」を復習する 自分の持ち物について述べる	21回目	5.1 「単純過去形」を使い、ものを失くす/見つける場面において、会話する
7回目	2.2 「現在完了形」の文の中の[already/yet]の使い方を学ぶ 自分の持ち物について述べる 2	22回目	5.2 「単純過去形」、「過去進行形」を学ぶ、復習する 人を助ける、人に助けを求める場面において、会話する
8回目	2.3 話題を変える表現を学ぶ 短い質問文を使い、関心を示す	23回目	5.3 驚いたできごとについて話す 言葉をかえて、驚きを表す
9回目	2.4 ネット広告を読む、書く	24回目	5.4 簡単な物語を読む、書く
10回目	2.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物についてディスカッションをする」 ・前期発表と連動する内容	25回目	5.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「おもしろい、驚くストーリーを作り、発表する」 ・前期発表と連動する内容
11回目	3.1 「冠詞」を学ぶ 自分の町について話す	26回目	6.1 「数量詞」を学ぶ 都会の問題について話す
12回目	3.2 「助動詞」を学ぶ	27回目	6.2 「現在・未来の条件文」を学ぶ 問題と解決策について話す
13回目	U1-3の振返り	28回目	6.3 [though]を使い、反対意見を述べる 様々な状況での心配、また安心を表現する
14回目	3.4 求職申し込みを読み、申込書を書く	29回目	6.4 価値観についてのネット投稿を読む、書く
15回目	3.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容3.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容	30回目	6.5 Time to Speak：前期発表

準備学習時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50 %）※オンデマンド授業 2．中間試験（50 %）※オンデマンド授業 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

Evolve 3

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	英会話	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC 講師
科目名（英）	英会話ＩA（English Conversation ＩA）　レベルC						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	昼間（Ｉ部）			（単位）	4	曜日・時限	月曜日5限/木曜日5限

【授業の学習内容】

主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、英語講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。

【到達目標】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

授業計画・内容

1回目	1.1 所有形容詞を学ぶ 知人・家族について話す	16回目	4.1 将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ
2回目	1.2 所有代名詞(whose)を学ぶ	17回目	4.2 「目的語」の使い方を学ぶ 贈り物について話す
3回目	1.3 話の切り出し方を学ぶ 会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ	18回目	4.3 招待する、招待に応える表現を学ぶ 招待を断る理由を説明する
4回目	1.4 自己紹介をする 職場でのフォーマルなメールを読む、書く	19回目	4.4 イベントへの招待を読む、書く
5回目	1.5 ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて話す」 ・前期発表と連動する内容	20回目	4.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶについて」 ・前期発表と連動する内容
6回目	2.1 習慣・ルーティンについて質問する [Wh-question]を練習する	21回目	5.1 人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる
7回目	2.2 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ 職場について話す	22回目	5.2 「過去形」（陳述文の否定形；疑問文）を復習する
8回目	2.3	23回目	5.3
9回目	2.4 ポッドキャストについての意見を読む、書く	24回目	5.4 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く
10回目	2.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」 ・前期発表と連動する内容。	25回目	5.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容
11回目	3.1 「現在進行形」を学ぶ・復習する 今していることについて話す	26回目	6.1 [be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する
12回目	3.2 「現在進行形」「単純現在形」を練習する スポーツ、運動について話す	27回目	6.2 「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す
13回目	3.3 情報を得るため、必要な表現を学ぶ 知らない情報をチェックする	28回目	6.3 店内で欲しいものについて述べる 物事の言い方を英語で聞く
14回目	3.4 サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	29回目	6.4 新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
15回目	3.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る、発表する」 ・前期発表と連動する内容	30回目	6.5 Time to Speak：前期発表

準備学習時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50％）※オンデマンド 2．中間試験（50％）※オンデマンド 3．レポート（％） 4．課題成果（％） 5．実地試験（％） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

Evolve 2

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	産学連携プログラム	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
科目名（英）	企業プロジェクトⅠ（Business Project Ⅰ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	(2)	曜日・時限	土曜日・3限

【授業の学習内容】

企業から出された企業課題に対して、学生が主体となった取り組みを行っていきます。プロから直接学び、現場の中でともに活動することにより、実践力・現場力を高めていきます。

実務経験:業界代表者及び企業各部署担当者

【到達目標】

業界の方、企業の方から直接学び、課題解決に向けた実践力・現場力を習得する。

授業計画・内容	
1回目	企業プロジェクトの目的や意図を理解し、主体的に取り組めるようになる。
2回目	スポーツテクノロジー業界について理解し、説明ができるようになる①
3回目	スポーツテクノロジー業界について理解し、説明ができるようになる②
4回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる①
5回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる②
6回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる③
7回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる④
8回目	企業説明や業界研究により、企業が持つ課題を考えることができる①
9回目	企業説明や業界研究により、企業が持つ課題を考えることができる②
10回目	企業説明や業界研究により、企業が持つ課題を考えることができる③
11回目	企業の課題について話し合い、解決に向けた取り組みを計画・実行できる①
12回目	企業の課題について話し合い、解決に向けた取り組みを計画・実行できる①
13回目	企業の課題について話し合い、解決に向けた取り組みを計画・実行できる①
14回目	試験
15回目	解説
準備学習時間外学習	業界・各企業等を事前にしっかり調べておくことが重要です。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（100%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	各業界で活躍する方々と共に学び、即戦力となる人材を目指しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	特別講義	必修選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名（英）	特別講義Ⅰ（Special Lecture Ⅰ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	実習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	(2)	曜日・時限	土曜日・1限 2限

【授業の学習内容】

各企業人事担当者、及び各チームトレーナー、フィットネスクラブインストラクター、スポーツマネジメント分野等業界の方々から、知識を得て、自分たちが目指す道を明確にしていく。各業界の現状や最新情報等を知ることで、将来像を描く。
※実務者経験　：各業界プロ、各企業の人事担当等が講演。

【到達目標】

業界の方、企業の方から知識を得ることにより、自分の将来設計の一助とする。

授業計画・内容	
1回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話しを聴くことができ、将来像を明確にすることができる①
2回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話しを聴くことができ、将来像を明確にすることができる②
3回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話しを聴くことができ、将来像を明確にすることができる③
4回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話しを聴くことができ、将来像を明確にすることができる④
5回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話しを聴くことができ、将来像を明確にすることができる⑤
6回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話しを聴くことができ、将来像を明確にすることができる⑥
7回目	実習先チームのトレーナーの話しを聴き、プロスポーツ及びプロチームのことを知ることができる①
8回目	実習先チームのトレーナーの話しを聴き、プロスポーツ及びプロチームのことを知ることができる②
9回目	実習先チームのトレーナーの話しを聴き、プロスポーツ及びプロチームのことを知ることができる③
10回目	フィットネスクラブ支配人、インストラクターの話しを聴き、フィットネス業界を知ることができる①
11回目	フィットネスクラブ支配人、インストラクターの話しを聴き、フィットネス業界を知ることができる②
12回目	パーソナルジム経営者、パーソナルトレーナーの話しを聴き、昨今のパーソナルトレーニング事情を知ることができる①
13回目	パーソナルジム経営者、パーソナルトレーナーの話しを聴き、昨今のパーソナルトレーニング事情を知ることができる②
14回目	特別講義を通し業界研究を行い、自分の目指すスポーツ・フィットネス業界を知り将来設計を描ける①
15回目	特別講義を通し業界研究を行い、自分の目指すスポーツ・フィットネス業界を知り将来設計を描ける②
準備学習時間外学習	各企業・各チーム等のことを事前にしっかり調べておくことが重要。

評価方法	1．定期試験（80%）　2．小テスト（%）　3．レポート（%）　4．課題成果（100%）　5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	

受講生へのメッセージ	各業界で活躍する方々の話しを聴き、自分たちが目指す道をより明確にしていきましょう。積極的な姿勢で参加してください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	資格・検定対策	必修選択	選択	年次	1	担当教員	
科目名(英)	ビジネスプランニング (Business Planing)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	土曜日・2限

【授業の学習内容】
ビジネスプランの基礎を学び、ビジネスの基礎について理解できる。また,ビジネス分野で必要となる資格・検定の取得に向けた知識を身に付ける。

実務経験:各検定・資格の担当者

【到達目標】
ビジネスプランについて理解し、新たなビジネスを企画・提案することができる。

授業計画・内容	
1回目	ビジネスプランについて理解し、説明ができる
2回目	ビジネスにおけるアイデアの発想法について理解し、実践できる①
3回目	ビジネスにおけるアイデアの発想法について理解し、実践できる②
4回目	ビジネスモデルについて理解し、説明ができる①
5回目	ビジネスモデルについて理解し、説明ができる②
6回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる①
7回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる②
8回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる③
9回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる④
10回目	ビジネスプランの方向性について理解し、説明ができる①
11回目	ビジネスプランの方向性について理解し、説明ができる②
12回目	ビジネスプランの企画書が作成できる①
13回目	ビジネスプランの企画書が作成できる②
14回目	試験
15回目	解説
準備学習時間外学習	各企業がどのようなビジネスプランを持っているのかを主体的に調べていく必要がある。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	既存のビジネスプランを知るだけでなく、そこから新たなビジネスを生み出せるようにしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	コーチング	必修選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名（英）	スポーツ心理学（Sports psychology）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ｉ部）			（単位）	（2）	曜日・時限	土曜日・1限 2限

【授業の学習内容】

スポーツが個人の人格形成に及ぼす効果や影響を知ることを目的として、個人の性格や環境などがスポーツの選択・パフォーマンスにどのような影響を与えられるかを学習する。さらにスポーツへの動機づけやコーチングの評価などの原理・原則から具体的な方法論までを学ぶ。また、身体・運動発達における心理学的発達への影響や、個人スポーツ・団体スポーツそれぞれに必要なメンタルトレーニングや、選手への指導方法など幅広く習得する。

実務者経験：スポーツ心理学・運動心理学を専門とし、選手の競技向上に向け、心理的側面からサポートを行う。選手に対してのメンタルトレーニングの実施・及びセルフコントロールに関しての指導を現在もおこなっている。

【到達目標】

スポーツへの動機づけやコーチングの評価などの原理・原則から具体的な方法論を実践することができることを目的とする。
〈具体的な目標〉
目標①スポーツへの参加・継続に関わる動機づけ（モチベーション）や動機づけに関わる心理社会的要因について説明ができる
目標②競技スポーツの心理的特徴、コーチングに関わる心理要因について説明ができる
目標③リラクセーションやイメージなどのメンタルトレーニングの方法や身体に与える影響について説明ができる

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	スポーツと心の関係について説明することができる
3回目	スポーツ集団と人間関係における問題について説明できる
4回目	競技者の精神面の強化に関わる問題について説明できる
5回目	競技者の自己コントロール能力向上に向けた養成方法を実践することができる
6回目	競技成績と動機づけの関連性について説明することができる
7回目	動機づけを高めるトレーニングや競技意欲向上のトレーニング原則について説明・実践することができる①
8回目	動機づけを高めるトレーニングや競技意欲向上のトレーニング原則について説明・実践することができる②
9回目	動機づけを高めるトレーニングや競技意欲向上のトレーニング原則について説明・実践することができる③
10回目	コーチングの心理について説明できる
11回目	指導者による心理的サポートについて説明することができる
12回目	指導者による心理的サポート例
13回目	心理的問題とその対応策について発表
14回目	定期試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	毎授業の積み重ねで展開していきます。前授業で習った内容を復習することを忘れないようにして下さい。
評価方法	1．定期試験（80%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（20% 5．実地試験（%）
	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	スポーツにおける心理的問題を考慮した指導者に向けた授業になっています。積極的な授業参加と意見交換を期待しています。

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成テキスト

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	コンディショニング	必修選択	必修	年次	1	担当教員	藤本　洋平
科目名(英)	コンディショニング概論(Conditioning Introduction)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜日・3限目

【授業の学習内容】

スポーツ選手のコンディショニングに関わる上で重要なコンディショニング評価、その方法や内容の基礎を理解し、実際の例を挙げその問題に対して的確なコンディショニング評価ができるような知識・技術を修得する。

＊実務経験:

2013年日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格取得。ピラティスを中心としたコンディショニングスタジオを経営。高校生・大学生の競技現場を中心にトレーナー活動している。トレーニング指導やウォーミングアップやクーリングダウンなど、コンディショニングの指導を中心に行っている。

【到達目標】

スポーツ選手のコンディショニングに必要とされるコンディショニング評価、その方法や内容の基礎を理解し、実践できるようになる。また、1つのコンディショニング方法でけではなく幾つもの方法を考えられるようになる。

授業計画・内容	
1回目	コンディショニングの概論が理解して説明できる
2回目	コンディショニングの要素が理解して説明できる①
3回目	コンディショニングの要素が理解して説明できる②
4回目	コンディショニングの評価法が理解して説明できる
5回目	コンディション評価が理解して説明できる
6回目	トレーニング計画とコンディショニングが理解して説明できる①
7回目	トレーニング計画とコンディショニングが理解して説明できる②
8回目	トレーニングの原則が理解して説明できる
9回目	トレーニングのカテゴリーが理解して説明できる
10回目	競技力向上を目的としたコンディショニングが理解して説明できる
11回目	スプリントトレーニングとエンデュランストレーニングが理解して説明できる
12回目	サーキットトレーニングが理解して説明できる
13回目	まとめ・復習
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習時間外学習	コンディショニングは幾つもの要素が積み重なって評価するものです。毎授業の積み重ねが重要になりますので毎授業後の復習をしっかりと行ってください。また自分の専門競技以外の競技についても興味をもって理解を深めて下さい。		
評価方法	1．定期試験（80%） 2．小テスト（%） 3．レポート（20%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	定期試験とノート提出で評価をします。
受講生へのメッセージ	スポーツにおけるコンディショニング要素を学び、実践に繋げるために繰り返し学んでいきましょう！		

【使用教科書・教材・参考書】・日本スポーツ協会　AT専門テキスト（6巻）「予防とコンディショニング」

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	パフォーマンス	必修選択	必修	年次	1	担当教員	木村　友紀
科目名（英）	レジスタンストレーニングⅡ（Resistance Training Ⅱ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	1	曜日・時限	火曜日、3.4.5限

【授業の学習内容】

前期はトレーニング器具の名称、使用方法、また基礎となるトレーニングの種類・方法・効果を中心に習得しました。
今期は身につけた基礎となるトレーニングやエクササイズテクニックをさらに深め、新たなトレーニングやエクササイズテクニックを習得。
より専門的なトレーニングや、エクササイズテクニック知ることで、様々な対象に応じたトレーニング指導動ができるよう実習を行う。

実施者経験：
チームトレーナー：高校硬式テニス部、高校ラグビー部、大学ラクロス部、
パーソナルトレーナー：アーティスト、バレリーナ、プロテニスプレーヤー、プロボクサー、プロラグビー選手
京都府国体テニストレーナー、島津全日本テニス室内選手権大会トレーナー

【到達目標】

自身で正しいトレーニングを説明・実演できるようになる事。
上肢・下肢のトレーニング・プライオメトリックトレーニング・パワーエククササイズ様々な対象に応じたトレーニングのプログラミングと指導が行えるよ

授業計画・内容	
1回目	上肢のトレーニングを理解し、実践する①
2回目	上肢のトレーニングを理解し、実践する②
3回目	上肢のトレーニングを理解し、実践する③
4回目	下肢のトレーニングを理解し、実践する①
5回目	下肢のトレーニングを理解し、実践する②
6回目	プライオメトリックトレーニングを理解し、実践する①
7回目	プライオメトリックトレーニングを理解し、実践する②
8回目	パワーエクササイズを理解し、実践する①
9回目	パワーエクササイズを理解し、実践する②
10回目	パワーエクササイズを理解し、実践する③
11回目	トレーニングメニューの作成・指導する①
12回目	トレーニングメニューの作成・指導する②
13回目	総復習
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習時間外学習	前期のレジスタンストレーニング、解剖学の復習が必要です。		
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	定期試験（80%）、平常点（20%）
受講生へのメッセージ	様々な対象に応じたトレーニングが行えるようになる為にも、より多くのトレーニングを学んでいくとともに、実際に自らがトレーニングを体験し、色んなことに気づき感じていくことが大切です。 正しいトレーニングを指導するためにも、まず自らがトレーニングを行っていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
NSCAジャパン　パーソナルトレーナーの為の基礎知識
目でみる筋力トレーニングの解剖学

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	スポーツビジネス	必修選択	必修	年次	1	担当教員	渡邊　雄己
科目名(英)	スポーツビジネス概論 (Sports Business Theory)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	月曜日・2限

【授業の学習内容】

スポーツとビジネス、スポーツと社会、スポーツと教育、チームと地域、施設と地域について学び、競技スポーツやフィットネス施設の運営マネジメントの基礎的知識を身に着き、説明できる知識の構築を行う。

※実務者経験：2013年に日本スポーツ協会（当時、日本体育協会）公認アシスタントマネジャーを取得。また、岐阜県スポーツ協会（当時、岐阜県体育協会）で、6年間「総合型地域スポーツクラブ専任指導員」として、岐阜県内の総合型地域スポーツクラブの指導助言に務めた。その後、2年間、現場の総合型地域スポーツクラブで実務を経験した。

【到達目標】

マネジメントの基本的な枠組みを理解し、スポーツの事例より組織（チーム、クラブ）のマネジメントについて重要な要素を説明することができる。一般企業のビジネス（マネジメント）と、スポーツ・チーム企業のビジネス（マネジメント）の違いを理解することを目的とする。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	スポーツビジネスについて説明することができる
3回目	チームにおける経営戦略について説明することができる
4回目	チームにおける人材育成について説明することができる
5回目	スポーツの教育現場の現状を説明することができる
6回目	スポーツの教育現場の現状を説明することができる
7回目	地域におけるスポーツチームの組織・運営を実践することができる　女子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙﾁｰﾑの実例
8回目	地域におけるプロチームの組織・運営を実例を通して実践することができる　男子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙﾁｰﾑの実例
9回目	地域におけるプロチームの組織・運営を実例を通して実践することができる　Jﾘｰｸﾞﾁｰﾑの活動の実際
10回目	地域におけるチームスポーツの組織・運営を実例を通して実践することができる　なでしこﾘｰｸﾞを目指すﾁｰﾑ活動の実際
11回目	施設運営・管理を実践することができる　ﾌｨｯﾄﾈｽｸﾗﾌﾞにおけるﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ論
12回目	施設運営・管理を実践することができる
13回目	試験対策
14回目	試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	授業で知った内容を必ず復習をして知識の定着を図ってください。
評価方法	1．定期試験（100%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%）　4．課題成果（%）　5．実地試験（%）
	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	組織・チーム運営は1人では経営できません。仲間と協力できることがチームマネジメント能力となります。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業科目名（英）	スポーツビジネス スポーツビジネス演習Ⅰ (Team Business Seminar)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	渡邊　雄己
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	(2)	曜日・時限	木曜日・4限

【授業の学習内容】

コミュニケーション、長期計画（キャリアプラン）、スポーツビジネス調査、マーケティング、ヒューマンリソース、アカウンティング、プレゼンテーションの基礎知識を身に着け、スポーツビジネスの社会情勢について理解・考察することができる知識を身に着ける授業を行う。
※実務者経験：2013年に日本スポーツ協会（当時、日本体育協会）公認アシスタントマネジャーを取得。また、岐阜県スポーツ協会（当時、岐阜県体育協会）で、6年間「総合型地域スポーツクラブ専任指導員」として、岐阜県内の総合型地域スポーツクラブの指導助言に務めた。その後、2年間、現場の総合型地域スポーツクラブで実務を経験した。

【到達目標】

マーケティングの基礎的な考え方を実践的なビジネス事例をもとに、ディスカッションを行い、ディスカッションを通して求められるものを提供するすべを探るスキルを身に着けることを目的とする。

授業計画・内容	
1回目	日経新聞より話題の抽出「春商戦」について説明することができる
2回目	マーケティングの基礎について説明することができる
3回目	メディアツール（広報に使うメディア媒体の特性をまとめる）について説明することができる
4回目	サービスと世話について説明することができる
5回目	満足（ベネフィット）について説明することができる
6回目	社会的影響について説明することができる
7回目	次への関連商品（トレンド）を考察することができる
8回目	サッカーワールドカップ 課題設定を行う
9回目	関連商品を考案することができる
10回目	メディア戦略について説明することができる
11回目	社会的影響について説明することができる
12回目	次のトレンド調査（オリンピックの影響を含む）について説明することができる
13回目	調査発表①
14回目	調査発表②
15回目	まとめ
準備学習時間外学習	新聞やネットニュースで今起きているスポーツビジネスに関連する問題を調べておいてください。
評価方法	1．定期試験（100%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）
	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	実社会で起こっている、政治的・世論的な観点をもとに、現在の話題に対して「考える」力をつけることで、市場を予測する力をつける。

【使用教科書・教材・参考書】

日経新聞

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	広告・宣伝	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
科目名(英)	スポーツデザインⅠ (Sports Design Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	2	曜日・時限	月曜日・1限

【授業の学習内容】

スポーツ業界の最先端で活躍するために、広告・宣伝の現状を数多く学ぶ。
自分たちが考え出した内容を人々にどのように見せ、伝えていくか、その方を習得する。

【到達目標】

スポーツ業界の広告・宣伝の現状を知る
新たなスポーツビジネスとして、プロモーション方法を考える

授業計画・内容	
1回目	スポーツ業界の宣伝の実際について知ることができる①
2回目	スポーツ業界の宣伝の実際について知ることができる②
3回目	スポーツ業界の宣伝の実際について知ることができる③
4回目	業界を取り巻く環境について知ることができる①
5回目	業界を取り巻く環境について知ることができる②
6回目	スポーツ現場や施設等における広告の実際について知ることができる①
7回目	スポーツ現場や施設等における広告の実際について知ることができる②
8回目	広告について調べ、グループ内で共有し、意見交換をおこなうことができる①
9回目	広告について調べ、グループ内で共有し、意見交換をおこなうことができる②
10回目	各自が考える、新しい広告の打ち出し方を伝えることができる①
11回目	各自が考える、新しい広告の打ち出し方を伝えることができる②
12回目	各自が考える、新しい広告の打ち出し方を伝えることができる③
13回目	各自が考える、新しい広告の打ち出し方を伝えることができる④
14回目	試験
15回目	解説
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50％） 2．中間試験（50％） 3．レポート（％） 4．課題成果（％） 5．実地試験（％） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	スポーツの業界における広告・宣伝の現状を知り、これまでにない新しいものを考え作りだしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	テクノロジー	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
科目名(英)	スポーツテクノロジーⅠ (Sports Techonology Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	2	曜日・時限	月曜日・1限

【授業の学習内容】

トレーニングを効率的・効果的なものにするためには、その動作や戦術について観察・分析する力が必要になります。最大限のパフォーマンスを引き出すためには、トレーニングにより得られる身体機能と効果を把握しなければなりません。この授業では、スポーツの場面において活用できるであろう最新のテクノロジーを知り、身につけ、人々に伝えていけるための知識・技術を習得します。

【到達目標】

● トレーニングの効果と効率を知ることができる。
● スポーツ現場で活用されているIT・テクノロジーの現状を知ることができる。
● スポーツ現場で活用されていないIT・テクノロジーを、いかにスポーツ場面で活用できるようにするか、発想力を身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	スポーツにおけるテクノロジーのについて知ることができる①
2回目	スポーツにおけるテクノロジーのについて知ることができる②
3回目	スポーツにおけるテクノロジーについて、知り得た情報を共有し、伝えることができる①
4回目	スポーツにおけるテクノロジーについて、知り得た情報を共有し、伝えることができる②
5回目	スポーツにおけるテクノロジーについて、知り得た情報を共有し、伝えることができる③
6回目	スポーツ業界の発展に向けて、グループディスカッションを実施することができる①
7回目	スポーツ業界の発展に向けて、グループディスカッションを実施することができる②
8回目	パフォーマンス向上に向けた身体動作の特徴と分析に対して、テクノロジーを駆使した内容の実践を考える①
9回目	パフォーマンス向上に向けた身体動作の特徴と分析に対して、テクノロジーを駆使した内容の実践を考える②
10回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える①
11回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える②
12回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える③
13回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える④
14回目	試験
15回目	解説
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
評価方法	1．期末試験（50 %） 2．中間試験（50 %） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	今あるものを知り、新しいものを考え、その内容を伝えていく力を身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	スポーツビジネス演習	必修選択	必修	年次	2	担当教員	福田　翼
科目名（英）	イベント企画演習（ Event Planning Seminar ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	昼間（Ｉ部）			（単位）	(4)	曜日・時限	月曜日　1.2限

【授業の学習内容】

スポーツイベントにおける企画から運営までを想定し、個人、又はグループでの発案・プレゼンテーションを中心に進めていく。対象も、年齢や運動レベルなどを基準に、様々なカテゴリーを想定して企画から運営までの発案、プレゼンテーションを行っていく。
※2017年からアスレティックトレーナーとして活動し、トライアスロン選手や社会人フットサルチームなどのサポートを行う。また、様々なスポーツイベントのサポートも行っている。

【到達目標】

スポーツイベントにおける企画から運営までについての発案力を身に付ける。
また、その内容を企業側・チーム側等に具体的に分かりやすくプレゼンテーションを通して伝える力を身に付ける。

授業計画・内容

1回目 2回目	スポーツチームが行っているスポーツイベントについて調べ、共有できる
3回目 4回目	スポーツイベントがもたらす効果について説明ができる
5回目 6回目	イベント企画においての手順や注意点について説明ができる
7回目 8回目	高齢者向けスポーツイベントの企画演習を行う
9回目 10回目	高齢者向けスポーツイベントの企画発表を行う/フィードバック
11回目 12回目	子供向けスポーツイベントの企画演習を行う
13回目 14回目	子供向けスポーツイベントの企画発表を行う/フィードバック
15回目 16回目	イベントの有効な広告方法・宣伝方法について説明ができる
17回目 18回目	広告やチラシの作成を行う
19回目 20回目	Jリーグについて調べ、Jリーグチームに提案することを想定した、スポーツイベント企画演習を行う
21回目 22回目	Bリーグについて調べ、Bリーグチームに提案することを想定した、スポーツイベント企画演習を行う
23回目 24回目	グループ発表準備①
25回目 26回目	グループ発表準備②
27回目 28回目	実技試験を行う
29回目 30回目	試験解説
準備学習時間外学習	日頃から様々なスポーツイベントについて情報を収集すること。高齢者の特徴や子供の特徴、または運動レベル別など様々なカテゴリーの人たちの特徴について調べておく必要がある。
評価方法	1.定期試験（60%） 2.課題成果（40%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	
受講生へのメッセージ	イベントに参加する側、企画する側の両側面からしっかりと物事を捉え、企画から運営までを行えるようにしていきましょう。また、プレゼンテーションを通して人に伝えることも大切です。		

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー　テキスト